

4-2 クリーンエネルギー利活用実践推進事業

事業目的

県立の専門高校において、資源やエネルギーの有限性と環境問題を再認識し、クリーンエネルギーの利活用などに関する実践的な学習をとおし、地球規模の視点に立って、環境の保全やエネルギー制約などの課題に対応できる職業人の育成を目指します。

事業効果

CO2削減効果	9 t-CO2
その他(実践学校数)	5校

事業内容

事業費 12,000千円

対象校 迫桜高校

- 内容
- ・太陽光発電システムとLED照明を組み合わせた植物工場の導入
 - ・上記施設を活用したエネルギーと植物の生育状態に関する研究
- ※太陽光発電システム設置工事(平成28年度)

その他(実践カリキュラムを継続)

- 黒川高校 太陽光発電の研究や地域企業と連携したLED街路灯の開発
- 加美農業高校 太陽光発電による環境対応型ハウスを題材とした研究
- 伊具高校, 白石工業高校 風力及び太陽光によるハイブリッド型発電装置等での研究
- 水産高校 太陽光発電による植物プランクトン培養に関する学習



平成27年度までの実践校から(加美農業高校)

【主な研究内容】

- 太陽光発電によるハウス内温度制御等の研究
- 2重被膜ハウスによる環境低負荷型農業の実践
- 地域児童等との環境学習による連携の促進

【主な成果】

- 発電量はハウス内各種制御をカバーできることを確認した。今後は、蓄電池による24時間型ハウスを考えていきたい。
- 各種発表大会で受賞するなど、生徒の学習意欲が高まり知識が深化した。
- 地域児童等と連携した学習体制が確立され、地域に根ざした環境教育を深めることができた。



現状

○地球温暖化防止対策は、国・地域をあげて真剣に取り組むべき切実な課題であり、早い年齢からクリーンエネルギーの利活用などに関する実践的な学習が必要です。

税導入後のイメージ

○専門高校で、実際にクリーンエネルギーを使いながら、実践的な学習を実施することが可能です。

